

2021年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年9月25日(土)・26日(日) ①低学年8:00~10:00 ②高学年10:30~12:30		会場	材木座海岸	
主催クラブ	鎌倉ライフガード				
対象/参加人数	小学生1~6年生41名				
指導者	橋仁彦、浅香豪				
研修生の受入れ状況	なし(その他クラブ員スタッフ9名)				
J L Aのねらい達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	達成した				
クラブのねらい達成度	『自分の身は自分で守る』サーフプログラムと防災について考えるプログラムを通じて、より海に親しみ、海遊びの基本を身につけるきっかけ作りを目指す。				
	十分達成した(困み記入できないため、該当項目のみ記載)				
使用機材・教具	レスキューチューブ、10fソフトボード、ライフジャケット、ニッパーボード、箱メガネ				
実際に行ったタイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10	【集合】挨拶、スタッフ紹介				
20	【ビーチクリーンラン】 日頃の環境に感謝を込めて海岸のごみ拾い				
30	【ライフジャケットの活用】				
40	・身に着けると良い点と注意点について				
50	・着用して泳いでみる				
60	・浮いて待て				
70	・グループサバイバル				
80	【パドリング】				
90	・ニッパーボードとロングボードの使用				
100	・材木座海岸から逗子マリーナ沖合を目指してパドリング				
110	・沖合で潜水や飛び込みチャレンジ				
120	【振り返り】環境や仲間たちへの感謝。 海を楽しめた気持ちを持ち帰る。				
130					
140					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし
活動内容ごとの振り返り	<p>【集合】 『はじめまして』のメンバーもいる中、スタッフの盛り上げと子どもたちの雰囲気により、緊張感ではなく明るい状態からスタートを切ることができた。</p> <p>【ビーチクリーンラン】 砂浜のコンディションからあまりゴミが見受けられなかったが細かいゴミなどのマイクロプラスチックに目を向けることができ、自分が普段生活で出るゴミなどを思い返しながら、環境について考えることができた。</p> <p>【ライフジャケットの活用】 泳ぐことできるメンバーが多かったが、正しい知識と着用方法の確認ができた。 また着用した状態でのワークにより、参加者同士の協調性や思いやりを体現することができる時間となり、良かった。</p> <p>【パドリング】 海水浴や、一人の力ではなかなか行くことのできない沖合まで出ることができ、子どもたちの表情もとても楽しそうだった。 長い距離を漕いだり、足のつかない沖合に出たりすることが、子どもたちにとって成功体験につながったと思う。 子どもたちの体力と楽しんでいる姿から、解散時間ギリギリとなり、復路のパドリング距離を短くしての対応となってしまった。 少し余裕のある時間配分をすべきだった。</p> <p>【振り返り】 学びのアウトプットとみんなで行うことができた。 そして何より子どもたちの満足感のある表情をうかがうことができ、成功と感ずることができた。</p>		
改善計画と今後の展望	<p>鎌倉市は海水浴場が開設されない中、子どもたちあそび場を守るために、鎌倉ライフガードでは、地元の子どもたちを対象にサーフプログラムを開催していました。</p> <p>ジュニアチーム以外で公募した秋のサーフプログラムは今回が初めてでした。 水着で入るには寒い時期に開催するのは初の試みでしたが、地元の方々にご協力いただき、ウエットスーツのレンタルや寄付をしていただき、開催することができました。</p> <p>秋のサーフプログラムのチャレンジをしたことで、より地元の方とのつながりや我々ライフセービングクラブの活動の認知にも繋がったと考えます。 来年以降も、まずは地元の子どもたちが地元の海で安全に遊ぶ術を身に付け、それを継承していく存在になってくれることを願い、今後も活動の幅を広げて参ります。</p>		

活動写真・集合写真



広報関連書類

鎌倉ライフガード 秋の海あそび

Save Our Play Ground 2021

2021年
9月25日(土)・26日(日)
@材木座監視所跡付近

A日程⇒08:00-10:00
B日程⇒10:30-12:30

中止の場合の料下付時間メールでご連絡します。
A⇒6:30 / B⇒8:00

自分の身は自分で守る

サーフプログラムと、防災について考えるプログラムを通して、よい海に親しみ、海あそびの基本を身につけるきっかけをみせています。



当日の持ち物
水着 / ウェットスーツ / 水筒
ゴーグル / タオル / マスク

感染拡大防止に努めながらの開催となりますが、社会情勢によりプログラムの中止、内容変更等を行う場合がございますのでご了承ください。

37℃以上の発熱・せきの症状が出た場合には参加をお控えいただき、その旨お知らせください。判断に迷う場合はご相談ください。

大雨、洪水、波浪、強風、高潮警報発令時や、雷が確認できる場合は原則中止いたします。

当プログラムでスタッフが撮影した写真・動画等はプログラムの報告や今後の活動紹介に使用させていただきます。お子様のお名前は記載しませんが、使用不可の場合、予めお申し出ください。

天候不順などによりプログラムの中止、欠席の場合もプログラム参加費は返金致しかねます。

欠席時やご不明点がございましたらメールもしくは浅香携帯までご連絡をお願いします。



<当日のご連絡先>

kamakura_lifeguard
神奈川県 鎌倉市

kamakura_lifeguard
材木座海岸 Zaimokuza beach

鎌倉ライフガードでは、先日まで海遊びプログラムを実施しておりました！クラウドファンディングにてご支援、応援していただいた皆さまこの場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました！
<https://camp-fire.jp/projects/view/426363>

“自分の身を自分で守る”
我々は、鎌倉の海にこんな考え方が根付いて欲しいと願っております。
子どもたちが安全に楽しく遊べる海をめざして、「遊び」と「学び」の要素を併せ持ったプログラムを9月にも開催致します！
概要、応募方法は下記情報をご覧ください。
また、先日のプログラム期間中に地域の皆さまから寄付いただいたウェットスーツを今回の海遊びプログラムでも活用させていただきます。

【～Save Our Play Ground 2021～秋の海遊び！】
日時：2021年9月25日 / 26日 (全2回)
時間：A日程=8:00-10:00 / B日程=10:30-12:30
場所：材木座海岸 (材木座監視所跡地を予定しております)
参加費：1500円 (保険代込み)
対象：鎌倉市在住の小学生
定員：各日程30名 (A日程=1-3年生 / B日程=4-6年生) 計60名
持ち物：水着・ゴーグル・水筒・ウェットスーツ (数に限りはありますが貸出可能)
応募方法：下記URLより応募ください



いいね! : hirokazu.ngn、他
kamakura_lifeguard 【秋の海遊び！開催決定！】

鎌倉ライフガードでは、先日まで海遊びプログラムを実施しておりました！クラウドファンディングにてご支援、応援していただいた皆さま改めてありがとうございます！

“Sava Our Play Ground 2021”

いいね! : hirokazu.ngn、他
kamakura_lifeguard 秋の海遊び！Day2も無事終了いたしました😊
ご参加頂いた皆さまありがとうございました！

また、地域の皆さまからのウェットスーツ寄付もあり今回秋の海遊びを開催することができました。
本当にありがとうございました！

2021年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年10月20日 16:00~17:00		会場	材木座海岸	
主催クラブ	鎌倉ライフガード				
対象/参加人数	小学1~3年生の男女33名				
指導者	今野恵 (ベーシックライフセーバー)				
研修生の受入れ状況	なし				
JLAのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	十分達成した				
クラブのねらい 達成度	海辺で起る可能性のある危険について考え、周りのひとと安全に楽しく海で過ごすための知識をつけ、思いやりのある行動を育ててゆく				
	達成した				
使用機材・教具					
実際に行った タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10	【バディーシステム】整列と点呼				
20	【ライフジャケットについて】 着用目的・注意点の確認 実際に自分自身での着用と、お友達同士で正しく着れているかチェックを行う				
30	【テキストブック】 冊子の内容に沿って、海の知識・				
40	海で安全に遊ぶための方法をインプットする				
	休憩				
50	【ビーチリレー】 仲間との協力、砂浜で走る脚力を養う 仲間と体を動かす楽しさを感じる				
60	【振り返り】ライフジャケットの着用の重要性和注意点、海で安全に遊ぶための方法の確認				
70					
80					
90					
100					
110					
120					
130					
140					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度	5 4 ③ 2 1 十分 もうすこし	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし
活動内容ごとの振り返り	<p>【バディーズシステム】 なぜ行うのかを考え、仲間の行動を観察し自分が何をすべきか考えられるメンバーが増えてきた。 コーチは必要以上に指示を出さず、気づきを与えられるような意識が必要。</p> <p>【ライフジャケットについて】 注意すべき点を子どもたちに考えてもらい、回答してもらった形式をとった。 まずは自分で考えること、理由まで答えてもらうことで理解度が上がった。 正しい着用方法を確認した後に、コーチは手伝わず、仲間同士でサポートして着ることと</p> <p>【テキストブック】 子どもたちに、指定した場所を音読してもらい、『なぜ?』を問いながら理解を深めることができた。 ただ、集中が続かないメンバーもいたため、みんなが楽しみながらお話を聞ける工夫が必要。</p> <p>【ビーチリレー】 チームの仲間を応援しながら、存分に楽しむことができた。</p> <p>【振り返り】 テキストブックから安全に関する内容について、確認を行ったが、子どもたちの発言したがる様子から、自主性と理解度をうかがうことができた。</p>		
改善計画と今後の展望	<p>今回はクラブ内ジュニアチームの低学年向けに、テキストブックを使用し、学習に時間をはじめて設けました。 なかなか年間のクラブ内ジュニアプログラムは、上半期ではチーム力やまとめ、また理解度が見込めないため、どうしてもトレーニングや実技など、体を動かす活動ばかりになってしまっていました。 今回の取り組みを機に、低学年へ座学の時間も組めるのでは、と感じることができたので、提供するプログラムの幅を広げようと思います。</p>		

活動写真・集合写真



2021年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年10月24日 10:00~12:00		会場	材木座海岸	
主催クラブ	鎌倉ライフガード				
対象/参加人数	小学1~4年生男女55名				
指導者	今野恵（ベーシックライフセーバー）、多胡誠（JLA指導員）、山下純平（アドバンスライフセーバー）				
研修生の受入れ状況	あり（クラブ員3名）				
JLAのねらい達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	十分達成した				
クラブのねらい達成度	海辺で起る可能性のある危険について考え、周りのひとと安全に楽しく海で過ごすための知識をつけ、思いやりのある行動を育ててゆく				
	達成した				
使用機材・教具	ライフジャケット、JLAテキストブック、フラッグ用ホース				
実際に行ったタイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10		【集合・挨拶・点呼】 できるだけコーチが誘導せず、こども達で声をかけさせる			
20		【テキストブック】 ・冊子の内容に沿って、 海の知識や海で安全に遊ぶための方法をインプットする。			
30		・1.2年生と3.4年生にグループを分けて行うため			
40		理解度に合わせて話す内容や取り上げるページを変える。			
50	休憩				
60	【避難経路確認】				
70	・地震、津波、災害が起こる可能性の認識				
80	・有事の避難場所と行き方の確認				
90	・約30人での経路確認となり、車道にも出るため 安全と仲間への思いやり、協調性を養う。				
100					
110	【ビーチフラッグス】 ・瞬発力、判断力、観察力を養う ・砂浜で走る脚力を養う ・仲間と体を動かす楽しさを感じる				
120	【振り返り】・学びの確認 ・一人ではなく仲間での活動であるため、取るべき行動について振り返る。				
130					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし	5 4 ③ 2 1 十分 もうすこし	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし
活動内容ごとの振り返り	<p>【集合・点呼・挨拶】 1～4年生が対象であった為、最高学年の4年生では全体をまとめるにはまだ難しい。一年生の話を聞こうとする姿勢に成長を感じた。</p> <p>【テキストブック】 子どもたちに、指定した場所を音読してもらい、『なぜ?』を問いながら理解を深めることができた。 ただ、集中が続かないメンバーもいたため、みんなが楽しみながらお話を聞ける工夫が必要。 ハンドサインのページでは実際に子どもたちに上半身を動かしてもらい、集中を向けられた。 学年によって選別する内容が重要であった。</p> <p>【避難経路確認】 1.2年、3.4年に分けて、移動を行ったが、1チーム30名ほど。 しかし、しっかりとまとまって移動することができたため安全管理がしやすかった。</p> <p>【ビーチフラッグス】 学年毎に1列に並び、一斉にファンレースを行った。 みんなで盛り上がることができた。 多くを教えなくても準備をできるようになってきたが、1年生はスタートラインにセットするのは一人では難しい様子。</p> <p>【振り返り】 チームとして、高学年が不在の中50名以上のメンバーで活動となった為、仲間への思いやりや観察力、今自分時は何をすべきか考えるメッセージ発信。</p>		
改善計画と今後の展望	<p>年間のクラブ内ジュニアプログラムは、上半期ではチーム力やまとまり、また理解度が見込めないため、どうしてもトレーニングや実技など、体を動かす活動ばかりになってしまっていました。 今回の取り組みを機に、低学年へ座学の時間も組めるのでは、と感じることができたので、提供するプログラムの幅を広げようと思います。</p>		

活動写真・集合写真



2021年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年10月24日 14:00~15:20		会場	オンライン	
主催クラブ	鎌倉ライフガード				
対象/参加人数	小学5,6年生 9名				
指導者	多胡誠 (JLA指導員)				
研修生の受入れ状況	なし				
JLAのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	十分達成した	達成した	達成していない		
クラブのねらい 達成度	普段から海と親しむ機会の多い高学年の子ども達に、改めて安全に関する知識を高める機会とする				
	十分達成した	達成した	達成していない		
使用機材・教具	ZOOMプラットフォーム、パソコン				
実際に行った タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10	導入 今回学ぶ意味・目的をしっかりと確認				
20	e-lifesaving 「海でのできごと」の視聴 先に全体視聴				
30	2回目は解説編を途中動画を止め、ディスカッションを挟みながら視聴				
40	「海でのできごと」振り返り				
50	e-lifesaving 「離岸流ってなに」の視聴 先に全体視聴				
60	2回目は解説編を途中動画を止め、ディスカッションを挟みながら視聴				
70	「離岸流ってなに」振り返り				
80	全体振り返り、感想、今後の展開についての意見集約				
90					
100					
110					
120					
130					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度	5 4 3 2 ① 十分 もうすこし	5 4 ③ 2 1 十分 もうすこし	5 ④ 3 2 1 十分 もうすこし
活動内容ごとの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入 誰よりも海に頻繁に入っているからこそ、正しい知識や事故防止の手法を学ぶことが大事であるかを考えるきっかけを作ることができたと感じた。 ・ e-lifesaving 「海でのできごと」の視聴 画面越しのコミュニケーションとなるオンラインでは、動画を視聴しながらのディスカッション時に、発言をするハードルがやはり高くなる。今回の対象となった学年では女子の方が発言に積極的にならない傾向があった。内容についてはよく理解していた。 ・ e-lifesaving 「離岸流ってなに」の視聴 離岸流のことがよく理解できる内容で、子ども達の理解度も高かったと感じた。途中のパラソルの部分は少し内容から浮いていて唐突な印象があり、指導側としては流れの中で難しさがあった。 ・ 振り返り あまり感想を引き出せず淡白な感じになってしまった。子ども対象のオンラインの難しさがある。 		
改善計画と今後の展望	<p>今回が初のe-lifesavingを使ったプログラムだったが、内容的には素晴らしく、今後の可能性を感じた。一方で顔見知り子ども達であってもなかなか距離感が分かりづらいオンラインでの実施は、初見の子どもを対象とした場合にはかなり指導者の実力や工夫が必要と感じる。対面であれば一回でかなりの人数を対象に行うことも出来るのではないかと。今回5・6年生を対象としたが、3・4年生でも理解できる部分は多いので、その学年を対象としても実施してみたい。</p> <p>今後は是非学校に出向いて実施してみたいと思う。</p>		

活動写真・集合写真



2020年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	①(西暦)2021年 7月 24日(土) 10:00 ~ 12:00	会場	静波海岸 他		
主催クラブ	静波ライフセービングクラブ				
対象/参加人数	①未就学児 3名、小学1年~6年 14名				
指導者	インストラクター：石原 早織、スタッフ：石原 進介				
研修生の受入れ状況	なし				
JLAのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	十分達成した 達成した 達成していない				
クラブのねらい 達成度	教室を通して、水辺の事故、自然災害（特に地震）を自分事として捉え、いざという時のために、家族や友達と事前に話し合ったり、確認する機会となるようにしたい。また、「自分の身は自分で守る」という意識を根付かせたい。さらに、有事の際に「率先避難者」となるよう、「思考力」、「判断力」、「行動力」が養われることを目指す。				
	十分達成した 達成した 達成していない				
使用機材・教具	ライフジャケット、レスキューチューブ、ニッパーボード、離岸流ポスター、e-Lifesaving				
実際に行った タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10	【オリエンテーション】・本日の目的と活動内容の確認・参加者の確認				○
20		【こんな時、どうする?】・今、この場で地震が起きたらどうするかを考える ・津波について知る（津波フラッグ、ハザードマップ、ライフジャケットの正しい着用の仕方の確認含む） ・離岸流について知る			
30	【ライフジャケットを自分で着用しよう】・ライフジャケットを着用ゲーム（助けてサインの活用も含む）				
	～休憩～				
40	【ビーチレクリエーションと避難訓練】 ・静波海岸へ移動し、ドッジビーをしよう（活動の途中で「津波フラッグ」を提示する→自分でライフジャケットを着用し、津波避難タワーまで避難訓練）				
50	～休憩～				
60	【ウェーディング】				
70	・水慣れ				
80	・海の中を走りながら、海とプールの違いを知る				
90	・チームに分かれてリレーを行う				
	～休憩～				
100	【ニッパーボード、ボディーサーフィン】				
110	・2つのチームに分かれて、ニッパーボードとボディーサーフィンチームを行う。				
120	・ボディーサーフィンでは道具がなくても、波に乗ることができる体験をする。				
130	【活動をふりかえろう!】・活動を通して、学んだことをみんなで共有した				
140					
150					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度			
活動内容ごとの振り返り	<p>今回は、コロナ禍ということもあり、県内在住の方のみ（紹介制）で実施した。多くが兄弟姉妹関係であった。</p> <p>ジュニアメンバーが4名参加しており、避難訓練をしているため、避難場所を把握しているが、なぜ、避難が必要なのか、再度、問いかけた。</p> <p>ビーチレクリエーションと避難訓練では、とっさのことに、サンダルを履かずに避難する子がいたため、再度、「履きものだけは、履いてくること。」を再確認できた。こちらが伝えていても、受け手側が「自分事として捉えていないこと」が分かった。経験から学ぶ良い機会であった。</p> <p>また、野外での活動だったため、「e-Lifesaving」をその場で活用することが難しかった。活動中は、「e-Lifesaving」に入っている内容に触れ、「e-Lifesaving」紹介し、家庭で活動事後に見ていただくこととした。単発の活動で終わらせるのではなく、家庭での振り返るの場を設定した。</p>		
改善計画と今後の展望	<p>子供達が率先避難者として行動できるよう、何度も反復し覚えることと、楽しみながら行動することを使い分けながら、今後も防災教育について学んでいきたい。また、野外での活動の場合、e-Lifesavingを参加の前、後の学習へ結びつける等活用の工夫が必要である。</p> <p>今後も対象者に合わせてプログラムの到達目標を決め、実施していきたい。</p>		

活動写真・集合写真



活動写真・集合写真



活動写真・集合写真



2021年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年 8月 28日	9:00 ~ 15:00	会場	城山海水浴場	
主催クラブ	若狭和田LSC				
対象/参加人数	34名				
指導者	細田直彦				
研修生の 受入れ状況	あり				
JLAのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを 実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	十分達成した 達成した 達成していない				
クラブのねらい 達成度	水辺でのアクティビティを通じて、楽しさや自分の命の大切さを学ぶ				
	十分達成した 達成した 達成していない				
使用機材・教具	PFD, レスキューチューブ, ニッパーボード, Jr用教材, ラッシュガード				
実際に行った タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10	自己紹介/アイスブレイキング				
20			教材での座学(ライフセービング、リップカレント、e-lifesavingの紹介)	p38	
30			準備運動/レスキューチューブ渡り/PFD		
40			ニッパーボード		
50			振り返り・まとめ	p42	
60					
70					
80					
90					
100					
110					
120					
130					
140					
150					
160					
170					
180					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度			
活動内容ごとの振り返り	<p>1時間1コマで合計4コマの実施だったため、楽しさメインで伝達した。楽しさは十分に伝えられたと考える。</p>	<p>1時間1コマで合計4コマの実施だったため、クラスのメンバー間の関わり合いはあまりできなかった。ライフセーバーと参加者の間では円滑にかかわることができた。</p>	<p>教本の中で触れたこと、またPFDで自分の命を守ることの重要性を伝えた。</p>
改善計画と今後の展望	<p>ニッパーボードの時間をもっと多くできるようにしたい</p>	<p>参加者間でのコミュニケーションが図れるようにしたい。</p>	<p>短時間で命の大切さを伝達できるようなカリキュラムを組むようにする必要がある。</p>

活動写真・集合写真



活動写真・集合写真



ビーチであそぼ！
大人もきてね！

小学生以上対象
**高浜町
ビーチスポーツ
体験会**
(全3回)
参加費無料！

持ち物
*着替え *水分
*タオル *昼食
お忘れなく！

第2回 定員50名

8月28日(土)

場所：城山海水浴場

時間：9時半～15時

少雨決行

※当日のタイムスケジュール※

9:20 城山海水浴場前受付開始
(種目振り分け)

10:00 午前の部 ①

11:00 午前の部 ②

12:00 昼食 (各自ご準備ください)

13:00 午後の部 ③

14:00 午後の部 ④

15:00 解散

※小学校低学年の参加は保護者同伴をお願いします。

※当体験会は、各種目1回のみ体験とし、
合計4種目を体験する一日参加型のイベントです。

※種目は申し込み順のため、ご希望に添えない場合も
ございます。あらかじめご了承ください。

実施種目 各種目定員10名/回



SUP (サップ)
スタンドアップパドル
or サーフィン



シーカヤック



海釣り



ビーチラグビー



ライフセービング体験
海の安全講習会など

お申込み方法



8月8日(日) 午前9:00より、
オンラインで受付開始いたします。
左のQRコードからアクセスください。

問い合わせ先

総合型クラブ HIGH-BEACH(ハイビーチ)
高浜町三明1-19 高浜まちなか交流館内
電話：0770-72-3318
詳しくはホームページをご覧ください。



会場周辺地図



車でお越しの際は、
近隣の駐車場をご利用ください。

若狭高浜駅より北へ車で5分

※雨天による中止の場合は
午前7時 ホームページ
にて告知いたします。

※37.5℃以上の発熱
(平熱より高い状態)
風邪症状のある方、体調不良の方は
参加をお断りすることが
ございます。ご了承ください。

第3回は
9月20日(月・祝)
を予定しております。
お楽しみに！

主催 高浜町教育委員会

2021年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年 10月 10日 9:00 ~ 12:00	会場	青島海水浴場			
主催クラブ	特定非営利活動法人 宮崎ライフセービングクラブ					
対象/参加人数	9名					
指導者	小玉順規(JLA SL)・戸波恵斗・ト部歩武・大久保正千栄・横手奈都紀(JLA SL)・中村大暉(JLA SL)					
研修生の 受入れ状況						
JLAのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを 実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。					
	十分達成した 達成した 達成していない					
クラブのねらい 達成度	自然(砂浜・波打ち際・海中)の中で、人(参加者・保護者・指導員)と関わり合いながら心を開放し、 お互いを認め合い、命の大切さを学ぶ。					
	十分達成した 達成した 達成していない					
使用機材・教具	ライフジャケット・ニッパード・ラッシュガード・パトロールキャップ・テキスト・クリアファイル					
実際に行った タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意	
10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 180	<p>(オリエンテーション)○自己紹介を通して、お互いを知り、お互いを認める。 コンディショニングチェック/コロナ対策;検温・体調チェック・2Wコロナスクリーニング)) * 青島の地域ドクター・ナースによるチェック</p> <p>ビーチクリーン/安心安全と活動環境・自然問題の教育 自己紹介/コミュニケーションをとる * 青島地区地域住民及び地区会長によとの交流</p> <p>青島の海の特徴 * 青島の海の基礎知識 * 離岸流等</p> <p>BLS・AED * 応急手当・一次救命処置の対処方法を学ぶ</p> <p>休憩</p> <p>準備運動 * ビーチランをしながら、バディ・ヒューマンチェーン等組み合わせ準備運動を行う</p> <p>サーフ・サヴァイバル * 浮く・沈む等「海」を体感する。</p> <p>ニッパード * 名称・パドル・波乗りを楽しむ</p> <p>片付け・整理体操 * 道具の大切さを学ぶ</p>					

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度			
活動内容ごとの振り返り	<p>ライフセービングの「楽しさ」を体感させながら、動機付けを意識し、興味をもってもらいながら次のステップに促すようにこころがけた</p>	<p>バディシステム・ヒューマンチェーンの重要性を学ばせた。</p>	<p>日常において自他の生命を尊び、共助の精神が芽生えることを学ばせた</p>
改善計画と今後の展望	<p>今後も動機付けを行い、海辺の知識や知恵を体得しながら、関心を持ってもらえるように心がける。</p>	<p>チームワークの重要性を説きながら、共助の気持ちをもって活動させていく。</p>	<p>安心安全を念頭に、NO RESCUEを心がけ「救う」ことよりも「守る」に重点を置いていくようにしていく。</p>

活動写真・集合写真



令和4年4月11日

公益財団法人 日本ライフセービング協会
理事長 入谷 拓哉 様

日本財団助成事業 2021年度 ジュニア・ライフセービング教室開催支援事業の
実施について

この度、日本ライフセービング協会よりご支援いただきました表題の事業について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施できなかったことをご報告いたします。

当初予定では、町内在住の子供たちを対象に実施予定でしたが、こども園・小学校・中学校での陽性者確認が相次ぎ、団体活動の制限がかかりました。不特定多数を応募して実施する行事はすべて中止となり、ジュニア・ライフセービング教室についても実施できない状況となりました。誠に申し訳ございません。

2022年度は感染症の状況を確認しながら実施したいと考えています。変わらぬご支援をいただけますようお願いいたします。

【当初実施予定内容】

時 木：令和4年2月中
方 法：主に小学生対象に20名程度を想定（募集型）
内 容：海上保安署と協力し、座学講習とPFDの陸上講習を予定
ビーチクリーン実施により海岸漂着ごみの実態確認

☆実施内容を検討している段階でストップがかかり、海上保安署との交渉もできませんでした。

以 上

御宿ライフセービングクラブ
代表 林 昌広